

第7回 高知地方会 活動報告

開催日：令和元年9月28日（土） 14：00～17：00

会場：社会医療法人 仁生会 細木病院 新館地下1階 高行記念講堂

できる医師事務作業補助者シリーズ③「保険会社からみた入院・通院証明書の書き方講座」

令和元年9月28日細木病院 高行記念講堂において第7回高知地方会を開催致しました。

今回はできる医師事務作業補助者シリーズ「保険会社からみた入院・通院証明書の書き方講座」をテーマに98名の方々（会員25名 非会員73名）にご参加いただき、盛会に終わりました。

医学講座：

医療法人 新松田会 愛宕病院 脳神経外科 マイクロサージェリー部長 梶田 健 医師



「脳外科でみる病気～こんな時、脳神経外科にかかりますか？～」と題し、ご講演いただきました。

色々な症状からどのような脳神経外科的な病気が隠れているのか。「脳卒中の分類と比率」は脳出血20%、くも膜下出血10%、脳梗塞70%となること。手術の写真やMRI画像、頭蓋内の模式図も交え脳梗塞の分類の説明、手術に関しては術式点数を交えて分かりやすく説明して頂き、勉強になりました。

講演1：

住友生命保険相互会社 高知支社 総合マーケット推進部長 安田圭作、主任 伊瀬 淳子

「保険会社からみた生命保険の仕組み」についてお2人からご講演をいただきました。生命保険の仕組みである「申込み・入金・審査」といった基本的な内容から、実際の入院証明書をを用いての説明のような具体的な内容まで細かく説明していただきました。



また、今回は参加者より多くの事前質問を受けていましたが、それに対する回答スライドも紹介されました。

「保険会社は何とかして患者さんに支払いたいです」というお言葉をいただき、日頃の業務に活かせる具体的な事例などが参考になりました。



講演 2 :

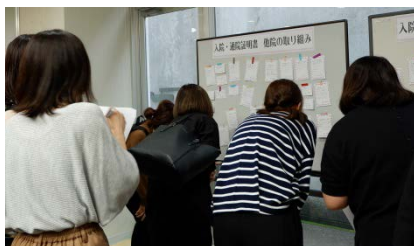
東京海上日動火災保険株式会社 四国損害サービス部 火災新種損害サービス課 課長代理 高橋 直也



「傷害保険の診断書～ご記入いただく際にご留意いただきたい点について～」と題し、損害保険にとっての「事故」の意味、一般的な生命保険診断書との違いなどを実際の傷害保険診断書を使用し、どのように記入すればいいかを説明していただきました。

参加者からも日頃疑問に思っていることが沢山質問され、一つ一つ丁寧に答えていただきました。

交流会 :



「入院・通院証明書の作成」について、自分たちが行っている取り組みや他院に伺いたいことをホワイトボードに貼りだしてもらいました。

「完成した書類はダブルチェックをする」、「書類作成のためのスキルアップは?」「新人が書類を作成をできるまでの取り組み」など皆でホワイトボードを囲んで活発な情報交換が行われました。

最後に当支部長門田美紀より当研究会の事業内容に加え、11月に福岡で行われる全国大会や地方会など全国の支部を中心に積極的に活動を行っていること、また高知県支部の取り組みについて話したあと閉会のあいさつを行いました。

～地方会を通じて～

今回初めて取り組んだ医学講座では、脳神経外科の医学的知識も深まり、また、保険会社の方々には普段聞くことが出来ない診断書の話をしていただき、とても勉強になりました。情報交換の交流会では保険会社の方々への質問が多く、最後まで対応していただきました。

参加者からは、脳神経外科であつかう疾病は多岐にわたるのだと勉強になり、他科との連携も非常に重要であると思った。今回の勉強会のおかげで、今後診断書の記入に悩むことが減ると思う、といった声がきかれ有意義な地方会となりました。

最後になりますが、地方会にご参加いただきました皆さま、開催にご協力いただきました関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

以上で活動報告といたします。

報告者：高知県支部 世話人 森崎 智穂子